

## 報告事項（２）

10月定例教育委員会 資料	
年月日	平成29年10月31日
担当課	教育委員会文化財課

### 鳥取城跡サクラ管理計画パブリックコメントの結果について

標記のパブリックコメントを実施したので結果を報告します。

#### 1. 計画策定の目的

史跡鳥取城跡（久松公園）サクラ保存管理計画は、国民共有の文化財として守るべき鳥取城跡の石垣などの保護を前提としながら、サクラの名所として親しまれている鳥取城跡の魅力を維持、向上していくための指針となるものです。

#### 2. パブリックコメントの実施期間等

##### ・実施期間

平成29年9月12日（火）～平成29年10月3日（火）

##### ・意見の提出方法

住所・氏名を明記の上、郵送・持参・fax・電子メールのいずれか（様式不問）

#### 3. 結果

・意見応募者数 8人

・意見数 25件

#### 4. 取り組みの経過

##### ・平成27年1月7日

文化庁における復元検討委員会において、大手登城路整備範囲内において、来訪者のための緑陰の確保する観点から、整備計画における植栽の在り方の提示を求められる。

##### ・平成27年2月19日

前述の指摘について、史跡鳥取城跡保存整備検討委員会において、市の方針を委員に提示。委員から史跡鳥取城跡の近代以降の城跡の土地を示すサクラの名所としての植栽を含めた樹木保存管理計画を作成すべきだとの意見を頂き、事務局としてサクラ保存管理計画を定めることを提案。

- **平成 27 年 6 月 18 日**  
文化庁と協議し、サクラ保存管理計画の基本原則について協議。了承。
- **平成 27 年 7 月 31 日**  
史跡鳥取城跡保存整備検討委員会において、サクラ保存管理計画の基本原則について協議、了承。
- **平成 28 年度**  
調査及び計画案の作成
- **平成 29 年 8 月 30 日**  
定例教育委員会でパブリックコメントの実施について報告
- **平成 29 年 9 月 1 日**  
市役所内の関係部局でサクラ保存管理計画の概要案について協議
- **平成 29 年 9 月 8 日**  
文教経済委員会で報告
- **平成 29 年 9 月 12 日 (火) ~10 月 3 日 (火)**  
パブリックコメントの実施

## 5. 今後の予定

パブリックコメントの内容を踏まえ、29 年度内にサクラ保存管理計画を策定

## 6. 市民政策コメント回答一覧

項目	意見の要旨	市の考え方
全体	(計画の趣旨には) 本質的に納得し、賛同する。	計画の策定と実現に努力します。
	二ノ丸、お堀端のサクラの新植及び保存管理計画は素晴らしい、実現して下さい。	
IV. 史跡鳥取城跡(久松公園)サクラ保存管理計画	サクラの木のあまり背が高くなっているものに対して適切な処置のありますことを願います。	計画書に記載した通り、適切な保存管理を実施していきます。
	「史跡として遺構や、景観への著しい影響がないと判断される場合……」とあるが、「史跡地域内においては、上記①の観点を優先し、それに合致する場合には……」とした方が誤解がないのではないか。「史跡としてのアイデンティティを示す景観を優先する」ことを明記すべき。	表記方法について再度検討します。
	計画の見直し期間について、必要に応じて変更する旨を示したうえで「10年間隔」とした方が現実的で良いのではないか。	<b>【※対応を検討中】</b>
V. 各地区のサクラ保存管理計画	伐採予定の4本のサクラについては、本計画の確定を期にまとめて除伐する方が報知効果も高く良いのではないか。	伐採の時期、本数等については、時期と状況を見て判断していきたいと考えています。

	<p>(2) 山上ノ丸地区のサクラ保存管理計画</p>	<p>山頂のサクラはない方を望みます（鳥取城の哀しい歴史を見てほしい、感じて欲しい）。</p>	<p>本計画（案）では、山上ノ丸のサクラについては「当面、現状保存的な管理とする」こととしていますが、「遺構面保護の対応・発掘調査等による遺構の状況の確認」が実施できるまで、「新たなサクラ等の植樹は行わない」こととしています。</p> <p>現状のサクラが枯死するなど状況が変化してきた場合、史跡全体での植栽のあり方を踏まえて、対応を検討したいと考えています。</p>
	<p>(3) 山下ノ丸地区のサクラ保存管理計画</p> <p>①天球丸広場</p>	<p>既存の松が記載されておらず、新植するサクラとの関係が不明確で、計画として不十分。松の木は可能であれば残すべきと考えるが、結構傾斜しているので倒壊・石垣破壊の可能性もある。取り扱いには十分検討して欲しい。</p>	<p>今回の計画はサクラに絞ったものであったため、松の木について特段記載しておりません。今後、ご指摘の松の木や、他の樹種も含めた史跡全体の植栽管理について検討していきます。</p> <p>なお、現時点では天球丸の二本の松の木については伐採の予定はありませんが、木の状態も含め経過を観察しており、必要に応じて対策していきたいと考えています。</p> <p>天球丸については、現時点でサクラが植樹されていない場所でもあること</p>
		<p>天球丸の松の木については、劇場版アニメに取り上げられた場所であり、せめてあと1、2年ほどは切らないでおいてほしい。</p>	
		<p>①劇場版アニメの聖地めぐりの一部になっており、新たな県外からの旅行者の獲得が可能②樹齢</p>	

		<p>が100年ほど経っていきそうな松を切るのはもったいないため、天球丸広場は現状維持のままで残していただきたい。</p> <p>天球丸広場の松の切り倒しについては再検討をお願いします。サクラのために立派な松を犠牲にするのはもったいない。</p> <p>サクラの植樹は、眺望を妨げにならないベンチの後ろ、もっと山寄りにしてほしい。</p> <p>天球丸にサクラの新植は似合わない。今2本の良い風情の松の木が立っている。昔の様にあと数本あれば将来はきっと名物になるはず。</p> <p>2本の松の間から広がる鳥取城下の素晴らしいロケーションを、計画にあるソメイヨシノの植樹は台無しにする。植えるなら山側の用水路に沿った場所がいい。</p>	<p>から、ご意見のあった松の植樹も含め、全体の植栽管理計画の中で方針を再検討することとします。</p>
	<p>(3) 山下ノ丸地区のサクラ保存管理計画 ⑤二ノ丸下通り</p>	<p>「計画①のサクラ」(図11の①・伐採予定)について、博物館から二ノ丸へ向かう途中の曲がり角的な位置にあり、サクラの季節には花の小道を演出する重要なもの。石垣群の眺望の妨げになるかもしれないがサクラの花が織りなす四季を楽しむ人もいることを考慮して頂いたらと思う。</p>	<p>現状のサクラの木については保存していくこととしていますが、この木が枯死した場合、新植は困難と考えています。計画的な管理と適切な植樹でサクラの季節の景観も保全していきたいと考えています。</p>

<p>その他参考意見</p>	<p>サクラの時期一人でも多くの市民が華やかで晴れやかな世界に浸ることができるよう駐車場又はシャトルバスの等のことも併せてお考えいただきたい。</p>	<p>【ご意見として、今後の史跡の保存・活用の参考とさせていただきます】</p>
	<p>三ノ丸や天球丸の景観を損ねている（鳥取）西高校を平成 30 年より併存から移転へと加速させ解体後に先般の発掘調査で出土した石垣を復元し新たにサクラを植樹する。</p>	
	<p>（鳥取）県立博物館を移転させる。</p>	
	<p>久松公園のトイレ付近の松が大きく傾いているので、対応を検討すべき。</p>	
	<p>「この計画による 20●●年」の様な CG 等を掲載すればよかったと思う。</p>	
	<p>策定された計画を報知し認知させる手段を確保し広報する必要がある。冊子や HP で公開し、市報でその旨を広報し、その結果を記録する必要がある。</p>	
	<p>万人の納得を得ることは無理なので、法令上の根拠を明確に示すなどして、割り切って考えるべき。</p>	
	<p>天球丸広場までの遊歩道の整備をお願いします。</p>	

	山上ノ丸、二ノ丸、三ノ丸のサクラや他の木も無造作に大木化して見晴しが悪い。思い切った対策を願う。	
	鳥府志には山上ノ丸の古松が描かれている。再現は可能か。久松山には松が似合うと思っている。	